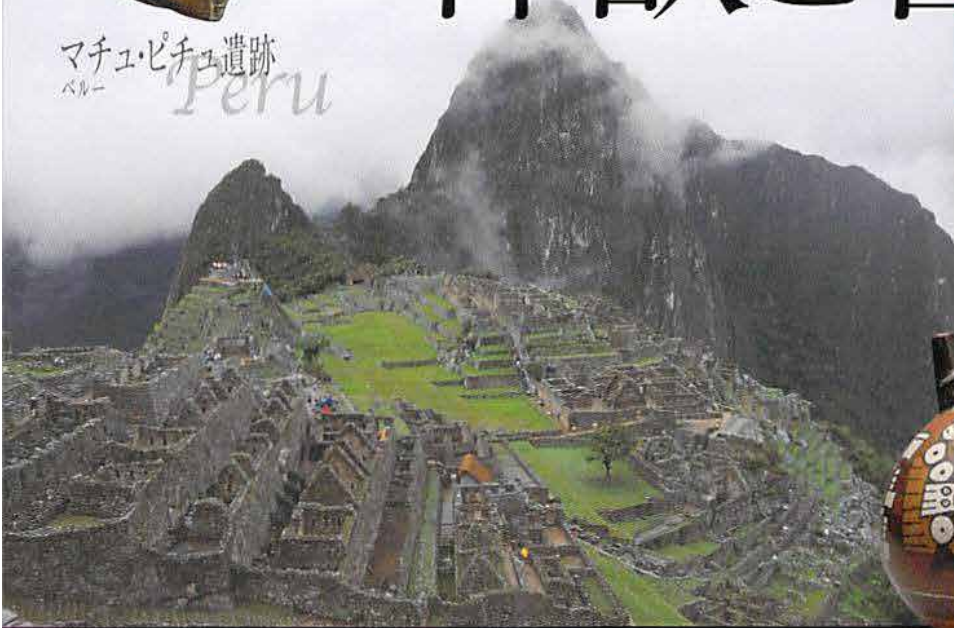




# 愛知県立大学 学術フォーラム 神獣と古代王権

マチュ・ピチュ遺跡  
ペルー  
Peru



旧大陸の古代社会では、およそ一万年前から多様な動植物の積極的な利用と介入、いわゆる植物の再生コントロールや動物の餌づけが少しずつ始まっていた。有益な動植物を選び食糧源として利用、人々の生活に取り込む作業が数千年間続きました。やがて農耕・牧畜が定着して文明の基盤を作り、都市文明へと導いています。今から一万四千年ほど前にアジアからアメリカ大陸へ初めて移住した狩猟採集民は、遅れて七千年ほど前に特定の地域で同様な動



2011年6月24日[金]・25日[土]・26日[日]

主催 愛知県立大学  
共催 愛知県陶磁資料館、中日新聞社  
後援 古代アメリカ学会、日本ラテンアメリカ学会

植物の利用を始めています。旧大陸とは異なった動物の家畜化、またトウモロコシやジャガイモなど多様な植物の栽培化の試行錯誤が、古代アンデスやメソアメリカを中心に、やはり数千年間続いていました。それらを基盤として宗教センターが勃興し、やがて巨大な計画都市を創る高度な文明圏が生まれたのです。数百万年の人類史から見れば最後のページといえる一万年間の社会進化は、物質文化を見る限り、急激な変化であり加速度的でありました。世界のいくつかの地域で物証が可能な、類似した社会発展のプロセス(特に農耕から都市形成)には、現代文明の理解に必要な課題が多く潜んでいます。復元の難しい古代人のイデオロギーの諸要素は、1980年代からのポスト・プロセシュアル考古学、さらに90年代から認知考古学・人類学理論から探究されるべき重要課題として指摘されています。本研究はそのうち、宗教の起源・具現化のプロセスを考古学、歴史学、宗教学という異なった視点から重層的に扱い、有効な接点を探りたいと思います。特に自然界を代表する動物の認知と象徴が作られる過程を、政治組織の形成・変革、さらに社会進化と絡めて追及したいと考えています。



テオテワカン遺跡  
メキシコ 太陽のピラミッド(左奥)のピラミッド



図版 上から)動物象形彩文壺 ペルー北海岸 モチュ文化/地方発展期 紀元前後~後700年  
BIZEN中南米美術館蔵/橋形把手付双注口壺 ペルー南海岸 ナスカ文化 前100~後700年 国立民族学博物館蔵/銅場型香炉の蓋 メキシコ・エスクイントラ地方 マヤ古典期前期 後200~600年  
BIZEN中南米美術館蔵/彩文深鉢 グアテマラ マヤ低地南部・ペテン地方 マヤ古典期後期 後600~900年 BIZEN中南米美術館蔵



6月 24日[金] 「神獣と古代王権」  
ワークショップ 第一日目

愛知県陶磁資料館にて

10:30 マチュピチュ新発見100周年写真展オープニング・セレモニー  
11:15 「神獣と古代王権」ワークショップ オープニング挨拶

愛知県立大学小ホールにて

13:00 「イントロダクション:メソアメリカの聖動物と古代権力の表象」(杉山三郎 愛知県立大学)  
13:30 「認知考古学理論と心の先史学」(松本直子 岡山大学)  
14:00 「宗教学から見た神獣・聖獣のシンボリズムと古代王権」(谷口智子 愛知県立大学)  
14:45 「古代中国の宇宙観における神獣」(曾布川寛 京都大学名誉教授)  
15:15 「翼を持つ女性:パコパンバ遺跡(ペルー)におけるシンボリズムとイデオロギー」(関雄二 国立民族学博物館)  
15:45 「古代朝鮮の聖獣と檀君神話」(久保田将之 関西大学)  
16:15 「日本古代史における神獣と国家権力」(丸山裕美子 愛知県立大学)  
16:45 パネル・ディスカッション

6月 25日[土] 「神獣と古代王権」  
ワークショップ 第二日目

愛知県立大学小ホールにて

9:00 「メソアメリカにおける犬の役割と表象」(嘉幡茂 愛知県立大学、フリエタ・ロベス メキシコ国立自治大学)  
9:30 「火山・火の神と国家権力」(パトリシア・ブランケット、ガブリエラ・ウルニウエラ ラス・アメリカス大学)  
10:00 「古代マヤのコスモロジーとその表象」(笹尾典代 恵泉女学園大学)  
10:45 「メキシコ先住民村落におけるジャガーの表象と権力」(小林貴徳 同志社大学)  
11:15 「動物としての人・人としての動物」(木村武史 筑波大学)  
13:00 「先スペイン期アンデスにおける動物分類について」(渡部森哉 南山大学)  
13:30 「帝国のヒエラルキーと動物:フリーティアワナコにおける王権のシンボルとアイデンティティ」(クリストフ・マコフスキー ベルー・カトリック大学)  
14:00 「先スペイン期ティアワナコ社会におけるヘビのシンボリズムとイデオロギー」(佐藤吉文 国立民族学博物館)  
14:45 「古代中国における権力と神獣」(森達也 愛知県陶磁資料館)  
15:15 「琉球王朝の動植物のシンボリズムと王権」(平良直 八州学園大学)  
15:45 「インドネシア、バリ島の聖獣二種—獅子「パロン」と牛形の棺「ランブー」—」(吉田裕彦 天理大学考古館)  
16:15 パネル・ディスカッション

愛知県陶磁資料館にて

17:30 ~メキシコの夕べ~(メキシコ音楽、料理、民族舞踊の夕べを開催)

6月 26日[日] 国際フォーラム  
「古代アンデス・メソアメリカの暮らしと聖なる動物たち」(一般公開)

愛知県陶磁資料館にて

10:30~11:30 展示解説(嘉幡茂 愛知県立大学)  
12:30 開会のあいさつ(谷口智子 愛知県立大学)  
12:45 「先スペイン期ペルー海岸の図像学における神々・動物・人間」(クリストフ・マコフスキー ベルー・カトリック大学)  
13:35 「古代アンデス人の暮らしと聖なる動物たち」(渡部森哉 南山大学)  
14:30 「火山・火の神と国家権力」(ガブリエラ・ウルニウエラ、パトリシア・ブランケット メキシコ・ラス・アメリカス大学)  
15:20 「古代メソアメリカ人の暮らしと聖なる動物たち」(杉山三郎 愛知県立大学)  
16:00 ディスカッション「古代文明を支えた聖なる動物たち」

愛知県立大学 学術フォーラム  
神獣と古代王権



愛知県陶磁資料館での併設事業

特別展 アンデス・メソアメリカ文明展  
—古代の暮らしと聖なる動物たち—  
Andean and Mesoamerican Civilizations:  
Sacred Animals and Ancient Life

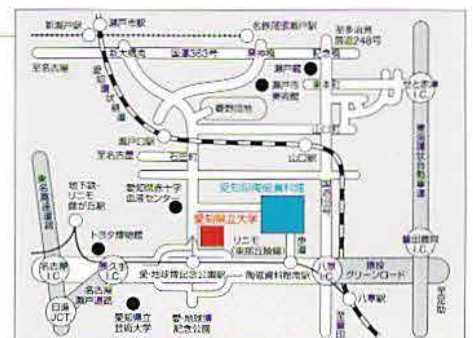
2011年5月28日[土]~7月31日[日]  
愛知県陶磁資料館 本館 第1・第2展示室

主催 愛知県陶磁資料館  
共催 愛知県立大学、中日新聞社  
後援 メキシコ合衆国大使館、在名古屋ペルー共和国総領事館、  
愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リニモ)  
協力 国立民族学博物館、BIZEN中南米美術館、  
天理大学附属天理参考館、光記念館、カカヨシ・メキシコ美術館  
監修 杉山三郎(愛知県立大学 特任教授)  
嘉幡茂(愛知県立大学 客員共同研究員)  
小林貴徳(同志社大学 非常勤講師)  
佐藤吉文(国立民族学博物館 外来研究員)

日本国内の博物館、美術館所蔵品および個人コレクションのアンデス・メソアメリカ地域の土器、石製品、拓本など約190点

交通

愛知県立大学 長久手キャンパス  
■リニモ(東部丘陵線)「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約5分  
愛知県陶磁資料館  
■リニモ(東部丘陵線)「陶磁資料館南」駅下車、北方向へ徒歩600m  
■名鉄バス(土・日・祝日のみ運行)  
名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅(バス停「瀬戸駅前」)から「愛・地球博記念公園」行き「陶磁資料館」下車  
■自家用車(駐車場無料・250台収容)  
東名高速道路「日進」ICより、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から瀬戸方面に約5km/東名高速道路・名二環道「名古屋IC」から瀬戸・豊田・足助方面へ約10km/東海環状自動車道「せと赤津IC」から長久手方面へ約7km  
■タクシー  
地下鉄東山線「リニモ」駅から徒歩約20分/名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から徒歩約15分



愛知県立大学 長久手キャンパス

〒480-1198 愛知県愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ畑間1522番3  
TEL 0561-64-1111 URL <http://www.aichi-pu.ac.jp/index.html>